

報 告 書

(委 員 会 名) 議会運営委員会 (タブレット導入検討WG)
(視 察 日) 令和 5 年 8 月 1 8 日 (金)
(視察先都市名) 福井県越前市、坂井市
(視 察 項 目) タ ブ レ ッ ト 導 入 に つ い て
(内 容) 報告者 浅野好一 (越前市)・縄手博和 (坂井市)

【越前市議会視察内容】

1 導入目的

- ・効率的、迅速な議会運営と議案審議(議会改革の一環)

2 導入プロセス

- ・行政視察(議会活性化特別委員会・議会運営委員会)
- ・両委員会での議論
- ・全議員の合意形成(一部紙媒体の配布も兼ねる。定例会前に講習会開催)
- ・理事者ともペーパーレス化で合意形成
- ・「越前市議会 ICT 化検討委員会」を設置して検討を特化した。計 6 回開催
- ・運用規定案・通信費の負担割合を検討して導入に至る。

3 機器、システム選定

※導入端末

- ・ iPad Pro を導入(128GB、12.9 インチ A4 サイズ)
- ・ リース契約
- ・ LTE(4G)回線を使用
- ・ 3 社入札でソフトバンクに決定(端末レンタル+通信料)
- ・ 現在の端末経費は 1,700 千円/年程度である。

※文書閲覧システム

- ・ 現在は当初導入システムと変って PFUIT サービス(株)でアプリは moreNOTE
- ・ 導入当初の導入費は初期導入費+システム使用料で 1,584 千円/年
- ・ 現在は 1,813 千円/年

4 運用について

- ・私費の負担をもらって禁止事項は極力少なくして自由に使用できるようにした。(インターネット、SNS、私物PCとのデータやり取りOK)
- ・アプリケーションの追加は追加申請書を提出してもらって許可が出た場合は自分で追加する。
- ・運用規定は別紙のとおりで遵守事項、禁止事項が定められている。
- ・予算書、決算書は印刷物と併用している。
- ・スケジュール管理、議会通知文の送付に使用
- ・一般質問に活用(閲覧資料、提出資料のモニター画面への表示)
- ・タブレット端末内のデータは議員任期が切れるまで保存OK

5 オンライン会議

- ・過去に3回実施した。
- ・基本的に、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会を対象に実施できる。
- ・令和3年6月に条例、規則の改正をした。

6 導入後の対応、メリット、デメリット等

- ・過去の情報、資料がすぐに閲覧出来て効率化が図られた。
- ・議員⇄議会事務局の連絡が迅速化
- ・紙の削減等で年間約567万円の経費削減となっている。
- ・資料の差替え、一部修正が容易にできる。
- ・利用講習会は定例会ごとに開催している。
- ・意外とトラブルは少ない。
- ・破損の場合で保険適用内は保険金で対応、その他は個人負担
- ・完全なペーパーレス化にはなっていない。
- ・議会事務局の負担軽減にはなっている。

【坂井市議会視察内容】

1 導入目的

- ・完全ペーパーレス化での作業効率化や負担軽減

2 導入プロセス

- ・本庁舎整備特別委員会で検討開始
- ・さらに特別委員会の中に小委員会を設置
- ・計 15 回の小委員会（視察研修含む）を開催
- ・令和 2 年度当初予算計上

3 機器、システム選定

*導入端末

- ・iPad Pro 12.9 インチ（256Gモデル）A4サイズ
- ・リース契約
- ・LTE（4G）回線を使用
- ・導入費 5,152,175 円 4年間（30台分）

*文書閲覧システム

- ・SideBooks 利用
- ・利用料 4,488,000 円（4年）100ライセンスまで

4 運用について

*議員が使用することを重要視し個人負担もいただきながら私用での利用も可能とした。

（負担割合 通信費のみ 公費 50%＋政務活動費 25%＋個人負担 25%）

*運用規定は別紙にて禁止事項などを定めている。

*議員個人のインターネット接続・SNS等更新、私物PCとの同期は認めている。

*個人でのアプリケーションはインストールできないように設定してある。

*議員には、議会の品位を重んじた良識ある使用を心がけてもらい、出所のわからないWiFiには接続しない。また外部機器には接続しない。なお、国外での使用は認めていない。

*議会事務局にて遠隔でバージョンアップを実施、アプリのライセンスは、サイドボックスとZ o o m以外は無償のアプリのみ導入。

*サイドボックス内の会議資料は基本的に3年保存。ただし、各種計画や予算書、会議録などは容量にもよるが、永年で格納。

5 オンライン会議

*DX推進特別委員会でリモート会議など提案

*オンライン委員会の開催に向けて、議会運営委員会で協議していくことを決定。

*各委員会での協議を重ね令和4年度12月定例会にて議会運営委員会から発議。

6 導入後の対応、メリット、デメリット等

*議員側の視点

- ・ペーパーレスが最大のメリット
- ・各種資料・各種計画書・ハザードマップなど紙だと紛失したりするがタブレットだとすぐに確認ができる。
- ・市民に対してすぐに回答でき、説明しやすくなった。
- ・実践していく場を増やすことで、徐々に慣れて使いこなせるようになった。
- ・タブレット使用に対する自由度を増すことで、慣れていない議員もどんどん触れるような仕組みづくりが、逆に良かった。(禁止事項を減らした)

*事務局職員の視点

- ・データ化によって、配布・印刷にかかる労力が軽減された。
- ・急な会議資料の差し替えや追加による配布がスムーズに行えるようになった。
- ・資料の検索が簡単になった。
- ・連絡手段が電話かFAXしかなかった議員に対しての情報共有ができるようになった。
- ・個別に連絡する必要がなくなり、一律かつタイムラグなしに伝達できるようになった。

【視察後、敦賀市議会での活用、検討する点(まとめ)】

1. タブレット機種 of iPad Pro の検討
2. サイズは A4 資料が原寸で見れる 12.9 インチ 検討
3. 外でも使えるよう LTE(4G)回線の利用を検討
4. 文書閲覧システムは moreNOTE を検討
5. タブレットの自由な利用
6. 議員の自己負担(レンタル料+通信費)の必要性
7. 初めは紙媒体との併用の検討
8. 講習会の開催
9. サイボウズとの併用
10. オンライン会議の実施に向けての条例、規則の改正の検討
11. 災害時の緊急連絡、安否確認、対策本部の情報共有等への活用